

「主を待ち望む者は」

～Hallelujah Anyhow 「とにかくハレルヤ！」～

「疲れた者には力を与え、弱っている者には活気を与えられる。若者も疲れ果て、倒れてしまうのに、主を待ち望む者は新しい力を得て、鷲のように元気で飛び回ることができる。走っても疲れず、歩いても弱り果てることはない。」

イザヤ書40章29～31節 [現代訳聖書]

2017年も本日で最終日となりました。最近いつも思うことですが、振り返って見ると過ぎ去った日々はあっという間という気がしてしまうのは私自身年をとってきたからでしょうか？

今年一年皆様、愛する兄弟姉妹方と共に教会生活を過ごしてこられたことを改めて感謝いたします。皆様の愛に満ちた祈りと励ましによって、私自身も、私たち家族も支えられ、前進することができました。

来る2018年も大きな変化の年になることと思いますが、変わらずに、共に主を見上げつつ、更に信仰の高嶺を目指して、栄光から栄光へと主と同じ姿に変えられていきたいと心より願っています。

大きな夢はそう簡単には手に入らないものです。しかし、信仰の恵みの約束は確実で、100%真実です。ですから、決してその望みを捨てる必要はありません。大川先生も最近時々お語りになりますが、主の大いなる救いのリバイバルの世界は、自分たちの世代だけではなく、私たちの世代を超えて、時代を超えて、受け継がれていくものだと感じています。ですから、次の世代への責任を私たちはしっかりと果たしていかなければなりません。次の世代にどんなバトンを渡していくのか？その世界を明確にしていかなければなりません。

主がご再臨されるそのときまで、何があっても主から離れることがないように、「Hallelujah Anyhow！」というブルックリン・タバナクル教会のクワイアーが賛美しているように、どんなことがあっても、主から目を離さない。どんなときにも「ハレルヤ！」と主を賛美して、上を見上げて前進していく。その灯を吹き消そうとする力が嵐のように押し迫ってくるがあっても、何が何でも、主を第一とし、教会を第一とし、兄弟姉妹と共に祈り合い、励まし合いながら進み続けていくことをここに決心して、その決心を次の世代に伝えて行かなければならないと自覚しています。更に良い教会、主に喜ばれ、聖霊様が豊かに働き、力が溢れ流れる教会を建て上げて行きたいと願っています。どうぞ、来年もよろしくお願い致します！

「新しく力を得る」と聖書は語っています。その前には、どんな人々も力尽きて倒れ果てると書かれています。主から新しく力を得るためには、無力にならなければなりません。また、古い過去の力や経験ではなく、主から与えられる新鮮な力によって私たちは強められると聖書は約束しています。主がご用意くださっている力を十二分に頂いていきましょう！